

平成20年度 校区外部評価の結果(最終まとめ)について

— 校区外部評価委員による評価結果と学校による内部評価結果 —

| | | |
|--------------------|---------|---------------|
| 前期の評価期間 8月1日～7月31日 | 学校番号 31 | 学校名 品川区立後地小学校 |
|--------------------|---------|---------------|

＜記入の仕方＞

①『第2回外部評価に関する協議会』へは、内部評価(自己評価/網掛け)の結果に「中間まとめ」以降のものを追加し、報告してください。

②「今後に向けての考え」の欄は、校区外部評価結果と、学校の内部評価と比較・検討し、学校の受け止め方を明確にした上で、学校の考えをお書きください。
※今回は最終まとめですので、1年間を総括し、具体的に表記してください。

③各校で、特に重点を置いた設問などについて、印を付けるなどの工夫をしてください。

④その他、参考になる事項がある場合は、末尾にご記入ください。

評価項目 その1【基礎学力の定着に関して】

| 校区外部評価の設問 | 評 定 ※外部 | 評定について ※特記事項のみ記入してください | 評 定 ※内部 | 今後に向けての考え ※特記事項のみ記入してください |
|---|------------|---|------------|--|
| 〔教師の姿〕 ①児童・生徒に学習の準備をさせている。 (学習への心構え) | B | 教室に入るとすぐに学習に必要な物を出させ、やる気を起こさせている。 | B (B) | 新しい発見や正しい理解、できなかったことができるようになるなど、本来、学習が持っている楽しさを伝えながら心構えを育てていく。また、チャイム着席や学習準備等の授業に臨む基本的なルールを大切にさせていく。 |
| 〔教師の姿〕 ②児童・生徒に指示や説明をしっかりと聞かせている。 (学習への意欲・態度) | A | 独自の資料で、児童に興味を持たせていた。教師は、児童に学習する項目についての指示や説明を分かり易くしている。 | A (A) | 指示や説明をしっかりと聞かせる姿勢を身につけさせることは、学習態度の基本として全教職員共通理解の下、今後も定着させていく。また、児童の興味・関心を高めるためには、教材研究が大切であることを十分認識し、工夫・改善に取り組んでいく。 |
| 〔教師の姿〕 ③児童・生徒に正しい姿勢で学習させている。 (学習規律) | B | 判別行動になると言動が乱れる班がある。中には、授業に興味がないのか、机によりかかっていたりしている児童を、そのままにしていることがある。 | B (B) | 学習規律の乱れが放置されることのないよう「後地小学習ルール10」を再確認し、全校で足並みをそろえて指導していく。また、頭ごなしの指導だけでなく、必要に応じて、個別の教育相談等を実施しながら背景的な要素を把握し改善させていく。 |
| 〔教師の姿〕 ④児童・生徒を学習に参加させる指示や質問をしている。 (学習活動) | B | 一部の児童に、教師に対する態度のよくないところがある。 | B (B) | 発問の工夫や明確な指示等、児童が意欲的に取り組む授業となるよう校内研究で取り組んでいく。また、児童の態度で問題がある場合は、その都度、その場で改めさせるように共通理解のもと、指導していく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑤板書の書き方が丁寧である。 (授業の展開) | A | 板書の仕方が、大変丁寧です。児童に分かり易く板書され、しかも丁寧に読みやすい。 | B (B) | どの授業においても見やすく、効果的な板書ができるように、さらに工夫していく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑥児童・生徒の意見を正しく聞き入れ、質問にはわかりやすく答えている。 (児童・生徒への対応) | A | 児童の説明に対し、分かるまで丁寧に説明をしている。 | B (B) | 授業の中では、疑問や質問を積極的に出し合える雰囲気づくりが大切だと考える。教師と児童との日常のコミュニケーションも含めて、今後もきめ細かな対応を心がけていく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑦机間を回り、個々の児童・生徒の学習の様子を確認している。 (個別対応) | A | 児童一人一人のことを、把握されている。 | B (B) | 授業において机間巡視等を行いながら個々の学習状況の把握に努めることは重要なことであるという共通認識のもと、個に応じた指導の充実につなげていく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑧授業に工夫が見られる。 (授業の工夫) | A | 多くの教師が、一人一人がよく工夫して授業を実践している。オリジナルの教材や補助教材を自作し、利用している。 | B (B) | 学習意欲を高めるための授業の工夫は、教師として常に取り組み、向上をめざすべき課題であると考え、OJTによる研修を活発化し、互いに切磋琢磨しあえる教員集団を目指していく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑨ノート等に正しく丁寧に文字や数字を書かせている。 (基本的な指導) | B | 児童によっては、ノートにまったく書いていない子も見受けられる。机間を周り、ノートを見て指導している。高学年になるにつれ、丁寧にノートをとっている。 | B (B) | 発達段階に応じたノートの使い方を指導し、高学年では、板書事項を写すだけでなく、自分の考えや調べたことがノートに書き込めるレベルにまで高めていきたい。また、個に応じた指導もきめ細かく実施していく。 |

| | | | | |
|---|---|---|----------|---|
| 〔教師の姿〕 ⑩児童・生徒の顔をしっかりと見ながら授業を進めている。 (状況確認) | A | | A (B) | 机間巡視とともに、児童の取り組み状況を確認しながら授業を展開していくことは、教師の基本的姿勢であると考え。現状に満足することなく、児童とまっすぐに向かい合って授業をするように心がけていく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑪授業のねらいが明確である。 (指導) | B | 学習のねらいを最初から明確にしている。目的やねらいを一つにしぼることは難しいが、今日はこれだけは、と最後に一声あればと思いました。 | B (B) | 1時間ごとの学習のねらいを週案作成時に、明確にさせるとともに、児童に「この授業で身につけるべき学力は何か」ということを授業最後のまとめで再認識できるよう工夫していく。 |
| 〔教師の姿〕 ⑫一人一人の児童・生徒の学習状況を確認している。 (評価) | B | | A (B) | 授業記録、指導記録、単元テストや漢字検定、算数検定等を実施しながら個々の児童の達成状況を把握していく。個に応じた指導方法の工夫へとつなげていくことが大切と考える。 |
| 〔教師の姿〕 ⑬家庭学習を習慣化させている。 (家庭との連携) | B | 教師により、宿題等の分量の差がみられる。宿題のおかげで、家で、鉛筆を持って机に向かいます。 | A (B) | 家庭学習については、低学年から習慣化できるよう、保護者会等を通じて、今後も理解と協力を求めていく。また、宿題については、全員への課題、定着状況に応じた課題等を工夫しながら、発達段階に応じた家庭学習課題のあり方について今後も検討を続けいく。 |
| 〔授業の様子〕 ⑭話の聞き方や発表の仕方など、学習ルールが守られている。 (学習のきまり) | A | 発言のルールや挙手は、大変良くなったと思います。質問発表には、挙手し、指名後に発言している。一部に学習の決まりを守っていない児童を見かける。 | B (B) | 学習ルールは、全校で低学年の時から徹底し、高学年になっても崩れることのないよう継続的に指導している。積極性を失わせることなく、挙手の際、周囲への配慮ができるよう指導していく。 |
| 〔授業の様子〕 ⑮児童・生徒同士で考えたり話し合ったりする活動がある。 (集団での学習活動) | A | 一つの事に対して、児童同士で、意見を交換し、結論を出している。集団での学習(5~6人)では、まとめるのがうまく進まなかったり、お笑い番組的な無責任発言もあったが、うまく指導している。 | B (B) | 話し合い活動は、児童が互いに学びあいながら、学習を深めていくために大切な活動である。司会の役割や話し合いの手順、ルールなど話し合い活動の基本が身につけられるよう、今後も様々な場面で取り入れていく。 |
| 〔授業の様子〕 ⑯児童・生徒が課題に一所懸命に取り組んでいる。 (学習に対する児童・生徒の意欲) | A | 授業中、席を立つ者もなく、授業に取り組んでいる。 | A (A) | 学力の定着、向上を図るためには、課題に取り組もうとする学習意欲が重要である。興味・関心を高め、意欲を引き出す課題作りを工夫していく。 |
| 〔授業の様子〕 ⑰全体的に活気がある。 (学ぶ意欲にあふれた学級づくり) | A | 質疑も自由活発で、落ち着いた授業が行われ、明るくのびのびとしている。どのクラスからも活気を感じます。 | B (B) | 受け身の姿勢ではなく、児童が目的意識を持って主体的に取り組む活動を大切にし、活気のある学級、学校づくりに今後も取り組んでいく。 |
| 〔学校の様子〕 ⑱学力の定着・向上に対して、小学校と中学校の先生が定期的に集まり協議している。 (小中一貫教育の推進) | B | 小中一貫教育の研究課題など具体的などのよう推進されているか内容を知りたい。また、聞くだけではなく、実際に機会あるごとに参観したい。 | B (B) | 連携四校の年間行事予定の中に四校の教員で組織する研究会(分科会)が組み込まれており、授業公開や研究発表会を実施する予定なので、情報を提供し、ご覧になっていただく。また、研究内容は、紀要にまとめる予定なので情報を提供していく。 |

評価項目 その2【社会性・人間性の育成に関して】

| | | | | |
|--|---|---|----------|--|
| 〔児童・生徒の姿〕 ①児童・生徒は、誰に対しても礼儀正しくあいさつ(※会釈も含む)している。 (望ましいあいさつ・返事、基本的習慣) | A | 校内で気持ちよく挨拶してくれます。校外でも、顔を合わせると自分から挨拶するようになってきた。しかし、校外では声をかけないと難しい児童もいる。(特に下校時) | B (B) | 地域、保護者の方々との連携による「あいさつの日」の取り組みは、あいさつ習慣のきっかけを促す意味で協力に大変感謝している。様々な場面での礼儀を含めて、あいさつが定着するよう指導していく。また、家庭との連携も必要と考えており働きかけていく。 |
| 〔児童・生徒の姿〕 ②児童・生徒は、学校のきまりを守って活動している。 (学校のきまり・校則の理解と励行) | A | 全体に児童が落ち着いて学習活動を行っている。通学路についてもよく守っている。 | B (B) | 低学年から、学校のきまりを守って生活することの大切さをしっかりと指導し、規範意識をしっかりと育てていく。 |
| 〔児童・生徒の姿〕 ③児童・生徒同士は、適切な言葉遣いをしている。 (学校での言語環境) | B | 中には、教師に対しても、友達感覚で話していることがある。児童同士の言葉遣いは良いとは言えない。(休み時間、遊びの中で) | B (B) | 場面に応じた正しい言葉遣い、人権を配慮した言葉遣い等の全体への指導を積み重ねていくと共に、問題のある言葉遣いに関しては、その場で個別に指導し、改善していく。 |
| 〔児童・生徒の姿〕 ④児童・生徒は基本的な生活習慣が身につけている。 (家庭生活) | B | | B (B) | 早寝、早起き、朝ご飯、あいさつや返事、時間やきまりを守る態度等の、基本的な生活習慣の定着は小中連携の下、家庭との連携を密接にしながら、定着化できるよう今後も継続的に取り組んでいく。 |

| | | | | |
|--|----------|---|--------------------------|---|
| 〔児童・生徒の姿〕 ⑤児童・生徒は忘れ物をしない。 (基本的生活習慣) | B | | B (B) | 発達段階に応じ、メモをとる習慣をつけさせるなど指導しているが、個人差が大きい課題でも考える。家庭との連携も図りながら忘れ物ゼロを目指していく。 |
| 〔教職員の姿〕 ①服装や身だしなみなどに気を付けている。 (社会人としての基本) | A | 教職員の言葉・服装等は社会人として相応しい態度で接している。 | B (B) | 公務員としてふさわしい服装や身だしなみとなるよう今後も継続していく。 |
| 〔教職員の姿〕 ②児童・生徒に対して、場に応じた適切な言葉遣いをしている。 (模範であることの自覚) | A | 授業や休み時間など、適切に行動し、指導されている。 | A (A) | 指導者の立場として、自ら率先垂範していく姿勢を重視していく。教員としての人権感覚を磨き、常に適切な表現ができるよう研修も実施していく。 |
| 〔教職員の姿〕 ③保護者・地域の方々に対して、礼儀正しく接している。 (他者に対する接し方) | A | 学校内外において、明るく挨拶され、気持ちが良い。 | A (A) | 誠実な姿勢が相手に伝わるように、礼儀正しく接することで、信頼関係の構築を目指していく。 |
| 〔教職員の姿〕 ④児童・生徒の模範となる態度を心がけている。 (大人モデルとしての意識と自覚) | A | | B (B) | 児童にとって身近な大人としての存在であることを自覚し、今後も模範となる言動を心がけていく。 |
| 〔教職員の姿〕 ⑤児童・生徒の気になる言動や態度に対してその場で指導している。 (生活指導) | B | 毅然とした指導を望みます。 | A (B) | 指導が必要な場面では、後に回さず、その都度、毅然とした姿勢できちんと指導していくことが重要と考える。必要に応じて複数体制で指導にあたるなどしながら継続的に改善していく。 |
| 〔教職員の姿〕 ⑥児童・生徒の生活指導上の問題について、小学校と中学校で話し合いをしている。 (小中一貫教育生活指導の姿勢) | B | 中学に進学した児童の情報が母校(小学校)に入っていない。(非行等)情報の共有を進めたい。一部の中学生の行動を小学生がまねなければよいかと思っている。 | B (B) | 小学校と中学校の生活指導主任を中心に、情報交換を定期的に行い、情報を共有している。非行等の個人情報に関しては守秘義務もあるため、概要しか公表できないケースもあるのでご理解いただきたい。 |
| 〔教職員と児童・生徒の関係〕 ①児童・生徒は教職員に対して、年長者に対する言葉かけや態度で接している。 (望ましい人間関係) | B | 中には、友達感覚で話している。教師の指導体制を検討されたい。敬語の使い方を知らないこともみられるので、指導を願いたい。 | B (B) | 敬語の使い方も含め、相手や場に応じた言葉づかいの指導に関しては、その都度行っていくことが大切と考えている。家庭や地域とも連携しながら年長者に対する言葉かけや態度について、様々な場面で適切な指導ができるよう協力関係を築いていく。 |
| 〔教職員と児童・生徒の関係〕 ②児童・生徒は、教職員の注意や指示を素直に聞き入れている。 (毅然とした態度と信頼) | A | | A (A) | 児童に愛情を持って接するなど日常の信頼関係を大切にしながら、必要に応じて毅然とした厳しい指導を行う姿勢を今後も大切にしていく。 |
| 〔教職員と児童・生徒の関係〕 ③教職員は、児童・生徒一人一人へ自然に話しかけている。 (児童・生徒との日々のコミュニケーション) | A | 信頼関係ができています。 教師は、どの児童にも適切に接している。 | A (A) | 教員は時間の許す限り、児童の近くにいるよう心がけており、自然なコミュニケーションづくりを大切にしている。今後も一人一人を大切にしながら、信頼関係を深めていく。 |
| 〔地域の方と児童・生徒の関係〕 ①生徒は、地域の行事に参加している。 (地域行事への参加意識活動状況) | A | 学校も地域に協力的でうれしく思います。参加の態度は立派である。地域からも期待されている。児童は、地域の行事を楽しんでくれている。 (祭礼、餅つき、夜警、防災訓練等) | B (A) | 地域の方々が日頃から、子どもたちに愛情を持って接してくれており、地域行事に参加することで、地域の一員としての自覚も育てられている。今後も、積極的に参加するよう働きかけていく。 |

評価項目 その3【保護者・地域との連携に関して】

| | | | | |
|--|----------|---------------------------|--------------------------|---|
| 〔教職員の姿〕＜保護者向け＞ ①学級における学習や生活の様子を伝えている。 (情報提供) | A | 各学年学校だより、保健だより、楽しみにしています。 | B (B) | 各学年学校だより、保健だよりなどは今後も定期的に発行していくとともに内容の充実を図っていく。また、ホームページなども活用しながら、積極的に学校の様子を伝えていく。 |
| 〔教職員の姿〕＜保護者向け＞ ②保護者に誠実な対応をしている。 (説明責任) | A | | A (A) | 家庭との信頼関係を築く上で、最も基本的なことであると考えている。今後も、当たり前のこととして誠実な対応を心がけながら信頼関係を深めていく。 |

| | | | | |
|---|---|---|----------|--|
| 〔教職員の姿〕＜地域向け＞ ①地域で会ったときに、あいさつをしている。 (礼儀) | A | 学校の内外を問わず笑顔で挨拶をされ、気持ちが良い。中には、周りを見ないでいるため、気がつかれない先生方もおられる。 | A (A) | 人間関係の基本として、また、児童にあいさつを指導していく立場として、今後も礼儀正しくありたいと考える。(気づかずに失礼してしまうことがないように注意を促していく。) |
| 〔教職員の姿〕＜地域向け＞ ②町会の行事に、教職員が参加や協力をしている。 (地域と積極的に連携する姿勢) | B | 管理職の先生をはじめ、関係の先生方は積極的に参加されている。出られない先生には、地域活動、PTA行事、区との共同行事など一度だけでも顔を出してほしい。 | B (B) | 今年度から、全ての教員が地域活動、PTA行事、区との共同行事に参加できるよう、年間を見通して計画を立てながら参加、協力できる体制を整えているので今後も継続させていきたい。 |
| 〔教育活動への参加〕＜保護者向け＞ ①学校は保護者が教育活動に参加しやすいように工夫している。 (保護者の視点からの学校公開) | B | | B (B) | 教育活動への保護者の参加は学校の教育活動に対する理解を深めるという点で大切なことと考えている。したがって、学校行事や授業参観など保護者が参加しやすいよう今後も工夫していく。 |
| 〔教育活動への参加〕＜地域向け＞ ②学校は、地域の環境や人材を活用する学習計画を立てている。 (地域環境・人材の活用) | A | 商店街には、技の持ち主が多く、その技を教えや地域の古人から歴史を請うたりしている。 | B (B) | 学校行事、市民科、各教科等で現在、様々なかたちで地域環境や地域人材を活用させていただいている。さらに、地域への愛着を育てるために活用推進に取り組んでいく。 |
| 〔学校からの発信〕＜保護者向け＞ ①最新の学校情報を発信している。 (保護者の視線に立った情報公開) | A | | B (B) | 内容、時期、表現方法など読みやすく、わかりやすい情報発信ができるよう今後も工夫していく。 |
| 〔学校からの発信〕＜保護者向け＞ ②保護者に成績の付け方についてわかりやすく説明している。 (評価に対する説明責任) | B | | B (B) | 評価項目や評価基準について学年、学級ごとに保護者会や面談、学年便りなどを通して、わかりやすく説明していく。 |
| 〔学校からの発信〕＜保護者向け＞ ③防災や不審者の情報を速やかに発信している。 (防災・安全に関する情報発信) | B | 学校に関係している方には、伝わるようであるが、周りの方々には、伝わりにくいようである。 | A (B) | 学校からの一斉メール配信システムが導入されたので緊急を要する防災や不審者の情報に関して保護者向けに速やかに発信していく。 |
| 〔学校からの発信〕＜地域向け＞ ①学校だより等が地域の掲示板に貼られている。 (地域への情報発信) | A | 地域の掲示板の学校だよりは、文字が小さく見づらいようであったが、考慮されて読みやすくなり情報伝達ができる。 | A (A) | 学校だよりの地域掲示板の掲示に関しては、ご協力いただき、感謝している。掲示してもわかりやすい学校だよりとなるよう今後も工夫していく。 |
| 〔学校からの発信〕＜地域向け＞ ②管理職は、町会に積極的に参加し、交流を図ろうとしている。 (地域連携に対する管理職の姿勢) | A | 管理職の方は、町会等の地域行事に積極的に参加されている。夢フェスタの参加うれしく思いました。 | A (A) | 町会には様々な面で協力させていただいており、大変感謝している。地域と学校の連携が重要であることは、言うまでもないことであるが、今後も交流を深めていく。 |

評価項目 その4【環境・美化に関して】

| | | | | |
|--|---|---|----------|---|
| 〔学校の状況〕 ①児童・生徒が落ち着いた生活を過ごしている。 (生活指導) | A | | B (B) | 集団生活を送る場として、周囲への配慮を忘れずに生き生きと活動しながらも、落ち着いてけじめのある生活が送れるよう、今後も指導していく。 |
| 〔学校の状況〕 ②校内の学習環境が整えられている。 (清掃・美化) | A | 学校内外の清掃・美化は行き届いている。特に、トイレがきれいなので、外部から入っても非常に感じがよい。 | B (B) | 学習環境を整えることは、落ち着いた学校づくりの基本であると考えている。今後も環境美化に力を入れていくと共に、学校外や家庭でも清掃・美化が習慣化するよう努めていく。 |
| 〔学校の状況〕 ③児童・生徒による校内清掃が行き届いている。 (清掃指導) | A | 休み時間等の時の清掃を、それぞれの児童がしっかりと行っている。 | B (B) | 清掃指導は、みんなが使用する場を大切にしていこうという公共心を育てる上でも重要であると考えており、低学年の時から力を入れて取り組んでいく。 |
| 〔学校の状況〕 ④来校者に学校の活動や児童・生徒の活動がわかる校内掲示がある。 (学習環境を整える校内掲示) | A | 各学級での掲示物、見やすく楽しみにしています。児童の作品に対して一言コメントをのせているのは、児童に愛情をもって接している証拠である。 | A (B) | 児童作品の展示は、日常の教育活動の成果が児童相互や来校者に伝えられるという面で重視している。今後も展示計画に基づき、工夫しながら学習環境を整えていく。 |

| | | | | |
|--|----------|---|------------------------|---|
| [学校の状況] ⑤破損箇所に対する対策が施されている。 (安全管理体制) | A | 主事さんのおかげで、いつも安全な環境でいられます。主事さんが危険と思われる場所を修繕されている姿を見て、安心・安全の学校との印象を受けた。 | A (A) | 児童の安全を第一に考え、安全点検を定期的を実施すると共に、破損箇所等は迅速に修理、修繕するよう今後も継続していく。 |
|--|----------|---|------------------------|---|

評価項目 その5【独自の特色ある教育活動に関して】

| | | | | |
|--|----------|---|------------------------|--|
| [児童の姿] ○どの児童も、読んだり、書いたり、話したりする学習に意欲的に取り組んでいる。 | A | 言語環境を整える指導に努力している成果が認められる。 漢字の書き取りの正解率がよくないが、改善方を検討されたい。 | B (B) | 音読朝会で学年ごとに詩の暗唱、朗読を発表するなど児童が意欲的に取り組む姿が見られた。 今年度より朝の読書タイムを設置するなど読書習慣の定着に向けてさらに具体化を図りながら取り組んでいく。 また、区学力定着状況調査の結果を分析すると漢字の書き取りに関して低学年の漢字を忘れてしまっている傾向が見られたため、広範囲の復習テストを実施するなどして定着状況を確認しながら改善を図っていく。 |
| [教師の指導] ○教師は、児童がていねいな字を書き、はっきりとした声で読んだり、話したりする指導を行っている。 | A | 学力定着度調査の結果からの検討をお願いしたい。 | B (B) | 基礎学力の根幹をささえるものとして読み書きの指導を徹底させていく。指導方法の工夫、改善にも継続的に取り組んでいく。 |
| [] ○ | | | () | |
| [] ○ | | ◎その他、全体にかかわった事項や特に感じたことなど | () | |
| [] ○ | | ○特に、80周年行事を機に校内が協力し、つながりを感じています。 ○後地小学校の先生方は、本当によく子ども達の指導、人間としての育成をされていると思います。 | () | |
| [] ○ | | 本校に子どもを通学させて、本当によかったと感じています。これからもがんばってください。 | () | |
| [] ○ | | | () | |
| [] ○ | | | () | |
| [] ○ | | | () | |